

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	平成30年度河内長野市いじめ防止等対策審議会
2 開催日時	平成30年11月14日(水) 19時から
3 開催場所	市役所7階 行政委員会室
4 会議の概要	(1)子ども未来部理事あいさつ (2)委員委嘱 (3)委員・事務局紹介 (4)会長・副会長選出 (5)審議会会長あいさつ (6)市立小中学校におけるいじめの現状について (7)その他、事務連絡
5 公開・非公開の別 (理由)	一部公開
6 傍聴人数	0人
7 問い合わせ先	(担当課名) 子ども未来部 教育指導課 (内線730 )
8 その他	

\*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

## 平成30年度 河内長野市立学校いじめ防止等対策審議会 会議録

- 1 日 時 平成 30 年 11 月 14 日 (水) 19:00～21:00
- 2 場 所 市役所 7 階 行政委員会室
- 3 出席者 審議委員 竹内 啓三 様 村上 佳津美 様 岡田 祐子 様  
水流添 綾 様 難波 泰明 様  
事務局 安田理事 坂本課長 生田参事  
中村主幹 小関主幹 川崎主幹

4 傍聴者 なし

5 会議内容

- (1) 河内長野市教育委員会 子ども未来部 理事あいさつ
- (2) 委員委嘱
- (3) 委員・事務局紹介
- (4) 会長・副会長選出 ・会長 竹内 啓三 様  
・副会長 岡田 祐子 様 事務局案で承認
- (5) 審議会会長あいさつ
- (6) 市立小中学校におけるいじめの現状について
- ①平成 29・30 年度の状況について事務局より説明

○ 全体の状況 別添資料 1～資料 4 について説明

### 質疑

- ・資料 1 より H29 の中 1、H30 の中 2 のいじめ認知件数が多い背景や特徴について
- ④小学校から課題のあった学年と認識
- ・資料 3 より 3 月に小学校のいじめ件数が多いことについて
- スマートフォンの低年齢化に対する対策 (ルール決め等) が学校単位でできるとよい
- 小学校での持ち込み現状についてはどうか
- ④府が見直しを検討中、緊急対応として必要ではないかとの考え
- ネットいじめが小学校で増加していることは課題

→ 件数の数え方といじめの長期化について

㊦被害を受けた人数で件数をカウントしている、いじめの解消は国の方針通り

#### ○昨年度の事案の報告 別紙資料5について

##### 質疑

・事案に対する最初の調査、調査対象について

→ 「怖がらせた」のとらえ方を学校がどう認識して対応したのかがポイント

被害者の状況を分かった上での対応ができていたか

被害・加害者を知らない第三者的な人に対応に入ってもらうことも必要

・小学校からの引継ぎで一緒のクラスになっていることについて

→ 成長とともに負担になってくることも多い

同じクラスという対応はよくない

小学校の時点で負担に感じているという現実もある

現場教職員の意識改革が必要（優しい子、面倒見のいい子に頼りがち）

仲間づくりの在り方について市教委からの指導もしていく

・その後の経過について

→ このことを含め、様々な支援をしていくことを進めていけるのではないか

㊦体育の授業に参加できていないので、スクールカウンセラーとの時間にあてている

→ 当事者たちが卒業するまでしっかりと対応していくこと

#### ②平成30年度の事案について事務局より説明

##### ○今年度の特徴について4点説明

・いじめによって区域外通学による転校ができるかということ

・いじめが解消しているが登校できなくなっているケースのこと

→ 定義的には重大事案だが、不登校には様々な原因が考えられる

不登校は増加傾向で、ここ数年家庭の状況（貧困）は影響している

事案によって検討し、慎重に扱うべき

適応指導教室等、学校だけでなく違う方向からアプローチをしていくことはできる

- ・保護者が文書の提出を求めてくること

→ 調査結果は出すべきもの、出すことでこれ以上回答しないと言えるケースもある

いじめの結果は対応のため、文書でまとめておく必要がある

行政に対する不信感や不安感、主旨を明確にしてほしいという願いもある

なぜ必要なのか思いを聞き取ることで信頼感につながることもある

- ・性的なケースが増加傾向にあること

→ 家庭に何らかの背景があると考えられる

支援が必要な児童生徒への個別の指導が必要

専門的な立場からの支援として産婦人科医のかかわりはどうか

小児科医との連携等考えられるが、まだまだ未開発

SNS でつながっていることやさみしさ等、様々な背景がある

教育だけでなく、地域の中の関係機関（福祉・医療）等と連携した取組みが必要

社会全体として増加傾向であれば何らかの対策、連携を進めていく必要がある

児童生徒の将来にも関わってくる重大かつ深刻な課題

## (7) そ の 他

事務局より事務連絡（2点）

- ・いじめ対応プログラム河内長野市版「やさしさの種をまこう」学習指導案 part2 の作成と

活用について

- ・次回の日程について

→ 平成31年 2月 6日（水）18時からで決定

いじめ防止等基本方針について検討予定

事務局より事前に見直し案を各委員様へ送付すること